

今週のお祈り 大斎節第5主日特祷
全能の父なる神よ、み子イエス・キリストは大祭司として来られ、その血をもって至聖所に入り、ただ一たび永遠の贖いを全うされました。どうかご自身を神に献げられたキリストの血によって、わたしたちの良心を死に至る行いから清め、あなたに仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



号外 190
発行日 2024年 3月17日

この春にご卒園・ご卒業を迎える皆さん、おめでとうございます！どんな思い出ができたかな？皆さんの歩みの上に神様の祝福が豊かにありますように、心の中にいつもイエスさまがおられますように。

今週の聖書 ヨハネによる福音書 12:20-33
20 さて、祭りのとき礼拝するためにエルサレムに上って来た人々の中に、何人かのギリシア人がいた。21 この人たちが、ガリラヤのベトサイダ出身のフィリポのもとに来て、「お願いです。イエスにお目にかかりたいのです」と頼んだ。22 フィリポは行ってアンデレに話し、アンデレとフィリポは行って、イエスに話した。23 イエスはお答えになった。「人の子が栄光を受ける時が来た。24 よくよく言うておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。25 自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る。26 私に仕えようとする者は、私に従って来なさい。そうすれば、私のいる所に、私に仕える者もいることになる。私に仕える者がいれば、父はその人を大切にしてください。」27 「父よ、私は心騒ぐ。何と申すか。『父よ、私をこの時から救ってください』と言おうか。しかし、私は



まさにもこの時のために来たのだ。28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「私はすでに栄光を現した。再び栄光を現そう。」29 そばにいた群衆は、これを聞いて、「雷が鳴った」と言い、ほかの者たちは「天使がこの人に話しかけたのだ」と言った。30 イエスは答えて言われた。「この声が聞こえたのは、私のためではなく、あなたがたのためだ。31 今こそ、この世が裁かれる時。今こそ、この世の支配者が追放される。32 私は地から上げられるとき、すべての人を自分のもとに引き寄せよう。」33 イエスは、ご自分がどのような死を遂げるかを示そうとして、こう言われたのである。

聖書からのメッセージ 執事 高柳 章江

イエスさまの、一粒の麦が地面に落ちて死ねば多くの実を結ぶ、という言葉は、ご自分がもうすぐ十字架の上のいのちをささげる、ということをとえています。イエスさまは私たちのために死なれるけれど、イエスさまが死なれることによって多くの人が救われるのだ、という意味です。そのほかにこの言葉は、神さまを中心にした生き方をすすめる言葉、と読むこともできます。「イエスさまならどうするか、神さまはどうごらんになるか、を思いながら毎日を暮らさない」という教えです。今、私たちがやっていること、やりたいと思っていることを神さまが見たら、神さまは喜んでくださるでしょうか。「死ぬ」というのは私たちの体が死ぬのではなく、私たちが「自分の思いを手放す」という意味なのです。

まことにこの時のために来たのだ。28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「私はすでに栄光を現した。再び栄光を現そう。」29 そばにいた群衆は、これを聞いて、「雷が鳴った」と言い、ほかの者たちは「天使がこの人に話しかけたのだ」と言った。30 イエスは答えて言われた。「この声が聞こえたのは、私のためではなく、あなたがたのためだ。31 今こそ、この世が裁かれる時。今こそ、この世の支配者が追放される。32 私は地から上げられるとき、すべての人を自分のもとに引き寄せよう。」33 イエスは、ご自分がどのような死を遂げるかを示そうとして、こう言われたのである。